

新宮山彦ぐるーぶ第1985回

持経宿・平治宿の巡回整備(お供え・備品補給と水場点検など)

◇実施日：2018年08月12日(日) 薄曇後晴

◇参加者：川島 功、沖崎吉信、児嶋道夫、濱野兼吉、橋本 梓、

大江加予子・徳子、生熊敏男・千満子、高階美根子、

上村洋司・和美、竹中卓治、奥村順夫、岩本信行、

志岐 敬、山本直子、梶野照雄。 18名。

新宮組は川島車に児嶋、奈良からの志岐・山本前日に果無越え、沖崎車に橋本、生熊夫妻、大江親子、濱野が同乗し、沖崎さんを7時25分頃出発。池原公園駐車場にて、今回は実家・大阪から上村夫妻、堺市の梶野さん、尾鷲・熊野市からの高階、奥村、竹中、岩本さんが揃い自己紹介を行う。

川島代表の挨拶が続いて、沖崎さんから今日は全員平治宿へ行き、小屋の清掃・水場点検・お盆に備えて不動堂と千年檜祠の供え物の交換や柵の交換等が主な仕事であるとの指示があり、池郷林道は3ヶ所地点で崩落があり、林道も通れるかどうか正式確認が出来ていないので、慎重に通るようにとの報告をうけ、岩本さんのランドクルーザーや上村さんの車に分乗して持経宿に向け出発。



池原公園Pで自己紹介



持経宿に到着



表示板(村吉氏設置)

池郷林道は幾箇所か崩落跡があるが、通るには支障無くゲートを通過。沢登りの女性がひとり林道を上流に向かつて歩いていて、凄いなあとと思う反面、沢登りの単独行動は如何なものかと疑問も感じる。

ゲートからの路面は、荒れていなく池原公園から約50分で持経宿に到着。小屋前には村吉さん制作の第22番・持経宿の新しい標識が立てられている。

私と川島さんはポリタンクに入った水を、高階さんはポリバケツに雑巾を千年檜まで、沖崎さんはトイレトパーパー等を児嶋さんは薪を、大江さんは剪定バサミ等を持って平治宿に向かう。



千年檜祠前にて



ピークで小休止



転法輪岳を望む

千年檜を過ぎて少し行った鞍部の奥駈道には、砂利が敷き詰められ、算木も新しく整備されている。これも村吉さんが一人で作られたとのこと、本当に頭が下がる。

曇り空で尾根の奥駈道には、風があり涼しく、先週の風の無い猛暑の行仙宿に比べると、本当に涼しく汗びっしりにならない。

持経宿と平治宿間の奥駈道は、千年檜を初めミズナラ、ブナ、ヒメシヤラ、シロヤシオ等と針葉樹巨樹が点在する間を縫って歩く、世界遺産の道象徴する素晴らしい修験の道である。途中ピークで休息を挟み約1時間で平治宿に到着。

平治宿では小屋の整理整頓、清掃、毛布とカーペットを干し、小屋の周辺の整備組と、水場の点検組に分かれ、私は梶野、岩本、竹中さんと水場に下る。志岐、山本さんは転法輪岳へと向かう。



平治宿に到着



室内清掃と毛布干し



平治宿前景

水場を下りると、貯水槽には殆ど水が入っていない。とりあえず溜まっている水をポリタンクに4個分水を汲み、水と小石を浚える。今回は珍しくシーボルトミミズが入っていない。サワガニが1匹のみ。浚い終わると私の手の甲に山ヒルが這っている。ヒルを払い落とし事なきをえる。



平治宿水場(濡れる程度の流れで鉄箱に溜まらず)

底浚え

鉄箱貯水槽を囲うコンクリートが剥離しているのを確認し、小屋に戻ると、それぞれ仕事有一段落していて、昼食となる。昼食後「カフェこじま」コーヒータム。上村さんからお菓子の差し入れもある。転法輪岳に行っていた志岐、山本さんが戻る。水場のコンクリートの剥離部分を補修すること、川島、梶野、生熊、岩本、竹中、上村さんと再び水場に下る。速乾剤を入れたモルタルコンクリートで鉄箱貯水槽の周りの剥離部分に上塗りして補修。これで当分の間流れ込む水は貯水槽に貯まることになる。落石に対する課題は残るが・・・次の機会に考えればいいだろう。上村さんは、一人で水場への道を補修、ずいぶん歩きやすくなる。



鉄箱周囲を目詰りセメント補修と補修後



水場作業者

小屋前の広場も片付き、西行歌碑がきれいに磨かれ読みやすくなる。第21靡・平治宿の標識も村吉さんが制作したものである。小屋前の広場では、山ヒルが居て騒がしたが、被害は無かった。平治宿での仕事は終了。女性陣は千年檜での作業があり先発。先週の行仙での作業に比べ涼しかったので作業も順調良く運び、千年檜に向かつて帰路につく。尾根をわたる風は涼しく千年檜まで休憩もなく戻る。私は少し遅れたが、途中梢の間から釈迦ヶ岳や五百羅漢が望め、しばし眺めを楽しんだ。

千年檜では女性陣の活躍で、お堂も雑巾がけされてきれいになり、櫛や盆菓子の供え物も整い、お盆の準備ができた。ここで勤行してということであったが、持経宿で行う事にして、児嶋さんが居ないが記念撮影をする。



平治宿下山前



千年檜手前鞍部の登山道補修後と櫛採取



千年檜祠清掃とお供え替え



千年檜祠で記念撮影



不動堂の清掃とお供え替え

持経宿では、児嶋さんが小屋の電気周りの点検や志納箱の鍵の点検等を行っている。梶野さんは水場に行つて、ホース口に溜まった泥を除去し、勢い良く流れる様に水場を整備して戻ってくる。沖崎さんより、持経宿と平治宿の志納金が盗難にあつて、全く

入っていないと報告を受ける。「山屋」は善人ばかりと思つていたが、そうでもないらしい。行仙宿の小屋でも監視カメラのカードが抜かれたりして、最近山彦ぐるーぷの被害も小さくはない。ボランティアが中心の活動だけに財政的な損失は大きい。今後、志納箱の鍵の取替えや志納金振り込み等の方法を含め小屋の管理等の対策が喫緊の課題である。



持経宿水場のホース口詰り・解消後



バッテリー接続線補修

心配された夕立に遭うこともなく無事行事は終了したが、帰る段になつて岩本さんのランドクルーザーのエンジンがかからない。沖崎さんの車とブースターケーブルを繋ぎ充電しながらエンジンを始動させるが、全く反応がない。沖崎さんいわく、一般車から大型ランドクルーザーにはバッテリーの充電できないのでは、これはバッテリーの容量の違いで、水が低い方から高い方に流れないので同じように、容量の小さい方から大きい方には電流は流れないと思うとのこと、

児嶋さんが点検を始めて、ヒューズが切れたのかも・・・程なくバッテリーへの接続線が圧着端子部で切れて、繋がってない事が判る。児嶋さんが圧着端子接続部のボルトナットを緩め、裸線にしてボルトに巻き付け、ナットを締めて固着接続する。これで

エンジンを始動すると始動した。太い線バッテリー接続線が切れたのは、長年の凹凸道での振動によるものと思われ、持経宿に到着してからエンジンが始動しなくなったのは、本当に運が良かったと思う。

山彦テクノの技術部門のスタッフは一流である。いつも道具や部品は誰かのトランクの中に備えられている。まるでドラエモンのポケットのように困った時には何でも出てくる。

岩本さんの車が動き、不動堂で生熊さん導師にて勤行をして、全員池原公園に向けて帰路につく。ゲートには、沢登りの車も帰ったようである。

池原公園駐車場では、東北山行や9月2日荷揚げの協力要請等の行事予定の案内をうけ解散し、それぞれ帰路についた。



不動堂で勤行



池原公園Pに無事下山



行動タイム

池原公園駐車場8:50→9:35持経宿9:45→9:55千年檜10:00→
10:20ピーク小休止10:35→10:55平治宿→作業→11:40昼食→水
場補修→平治宿12:40→13:20千年檜→13:45持経宿14:30→15:10
池原公園駐車場(解散)。

(記：濱野、写真：梶野・志岐・川島)